

〈育てたい子供像〉  
なかよくする子  
進んで学ぶ子  
やりぬく子



## たくましく成長する子供たち



6月に入り、校庭の銀杏の葉の緑も日増しに鮮やかさを増し、その勢いを感じることができます。自然の植物がたくましく成長する様子は、私たちにも勇気や希望を与えてくれます。

早いもので、1学期も半分が過ぎようとしています。学校の教育活動も軌道に乗り始め、教員も子供たちも学習活動に取り組む姿に、気持ちの上での安心が感じられるようになりました。これから、子供たちの個性、教室や学年の特性が少しずつ出始めてきます。まず、一人一人の子供たちのよさを見付けること、次にそのよさを子供たちに自覚させること、そして、向上心をもって学習活動に取り組む子供たちに育てていきたいと考えています。職員だけでなく、保護者や地域の皆様のご理解やご支援が加わることより、よりたくましく成長する子供たちの姿を見ることができると期待しております。今後とも、ご理解とご支援をお願いいたします。



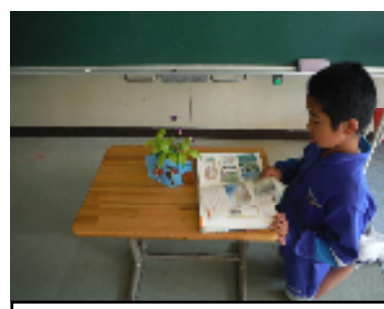
## クラフトクラブでの一輪挿しづくり



5月18日 一輪挿しづくり



クラフトクラブ



この花の名前は？

校区のボランティアの方々3名の皆様に講師としてお迎えし、クラフトクラブ(11名の4年生から6年生のクラブ員)で一輪挿しづくりの指導をしていただきました。5月の季節にふさわしい鯉をデザインを中心とした、とても涼しげでさわやかな雰囲気のある作品を思い思いに創り上げていました。また、材質の一部に和紙が使われており、日本紙独特の柔らかさと深みを感じることができる作品に仕上がっていました。クラフトクラブ員は、出来映えに満足し、大事そうに家に持ち帰っていました。

社会福祉協議会の皆様のご厚意により、その他、4セット作っていただき、1年と2年の教室に置きました。登校し教室に入った子供たちからは、「きれい、作ってみたい」と、興味津々の声が聞こえてきました。中には、挿してあった花の名前を調べ始める子供もいました。教室の中の小さな変化ですが、子供たちはそれぞれの持っている感性でその変化を受け取っていたようです。

自然(植物)に関心を抱く子、一輪挿しづくりに意欲を示す子等々、広がりが見られます。今後、ボランティアの皆様からは、6月7月・・・と、月によって違う題材でクラブ活動(月によって製作活動をするクラブは変化します)の指導を継続していただけたらと、次は何の一輪挿しができるのか楽しみでもあります。



すばらしい出来映え

## 入善高校の皆さんとの交流会



5月23日入善高校の皆さんと

平成28年5月23日(月)入善高校農業科の2年生の皆さんと本校の2年生との交流会がありました。ミニトマトやピーマン、ナス、カボチャ等の苗の植え方を習い、植えました。高校生の皆さんは、とてもやさしいお兄さんお姉さんばかりで、わずかな時間の中に、和気藹々と親しくなり、肩車をしてもらうなど甘えて遊んでもらっている姿を随所に見ることができました。



どんな実がなるかな



短い時間でしたが、子供たちにとっては大きな思い出として心に強く残ったはずです。入善高校の皆さんには深く感謝いたします。なお、今後も苗の成長と共に、子供たちの成長の観察のために立ち寄って頂けることを願っています。



## 田植え体験

5年生が、JAみな穂青年部の皆様からご指導をいただき、田植の体験活動を行いました。恐る恐る水田に裸足で入って、土の感触を直に感じながらの活動でした。中には、足が抜けなくなり尻餅をつく子、あっという間に田植えのこつをつかんでスムーズに植え進む子、土の感触を確かめるように泥団子を作る子等、思い思いに土と触れ合っていました。秋には、たくさんのお米が収穫できることを願うばかりです。JAみな穂青年部の皆様には、感謝するとともに、今後のお世話もお願いいたします。



5月24日 田植え体験

## 第60回 入善町小学校体育大会が開催されました



一生懸命練習する子供たち

5月25日(水)に第60回入善町小学校体育大会が入善町中央公園陸上競技場にて開催されました。

競技の途中で雨が降るなど、あいにくの天候でしたが、予定通り全競技を実施することができました。

入善小学校の4年生・5年生・6年生は、体育科の時間はもちろん、朝や放課後の時間などを活用して技術と体力の向上を目指して一生懸命練習してきました。

4年生にとっては、初めての大会、初めてのハードル走でしたが、目指すべき目標となる姿である5年生6年生と一緒に練習することにより、言葉では伝えられない多くのことを学ぶことができるよい機会となっていました。また、5・6年生は、模範となるようにと自分を律しつつ練習を重ねていました。その成果は、雨が降り、よいとは言えないコンディションの中でも「全力を出し切り、最後まであきらめない」姿の中に表れていました。

ずいぶんたくましく、頼もしく感じる事ができたのは、私だけでしょうか。大きな拍手を送りたいと思います。

